

食育通信

感謝して食事をしよう

1月20日(月)~24日(金)

学校給食週間 がはじまります



みなさんのもとに熱食がとどくまでに、たくさんの人がかかわっています

学校給食週間は、学校給食の意義や役割などについて理解と関心を高め、より一層の充実を図ることを目的として定められました。学校給食は、栄養バランスのよい食事で成長期にある子どもたちの健やかな成長を支え、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。

全国学校給食週間は、1月20日から24日まです。今年度は、「食べて学ぶ日本の世界遺産 給食で日本の世界遺産 の地域をめぐろう!」をテーマに特別献立を実施します。世界には、この地球上にある大切な自然や歴史のある建物、場所などを、こわれたり、なくなったりしないように世界中の人が協力して守っていこうとする「宝物」があります。この宝物を「世界遺産」とよんでいます。日本各地にはこの「世界遺産」がたくさんあります。給食を通して、世界遺産がある各地域に受け継がれてきた食をおいしく、楽しく学びましょう。

給食ができるまで

身支度(みじたく)・手洗い

ごみや髪の毛が入らないよう、身支度を 整え、爪ブラシを使って手をしっかり洗 います. 七谷共同調理場では、約100食を3名の調理員さんが作っています。毎日の給食がどのように作られているのか紹介します。

下処理 (したしょり)

野菜の皮をむいたり、洗ったりします。

食材 (しょくざい) のカット

|日に約7種類~|0種類の野菜を使います。 量はおおよそ20キロ。



虫やごみがついていないか確認しながら、I種類につき3回洗います。



調理 (ちょうり)



料理に合わせて切り方や 大きさを変えて切ります。



ロに入るものは素手で触れないよう、手洗いをしっかりした後、使い捨て手袋を着用し、衛生面に気を付けて作業をします。



もりつけ



各クラスに必要な量を届けます。



大量調理は、とて も体力がいりますが、 喜んでもらえるよう がんばって作ってい **オ

